

STEP 2 災害に備える

わが家の防災会議 ~家族の安全は自分達で守る!~

☑非常用持ち出し品の準備

水、食料、懐中電灯、ラジオ、常備薬、現金、予備用電池など、必要最低限の物をリュックにまとめ、すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。

*物置や車に保管するのもよいでしょう。



☑家の中の安全を確保しよう!

地震の際、被害を最小限に抑えるために、日頃から家の中の安全確保に努めましょう。危険な所をチェックし、家具はし字金具や突っ張り棒などで固定すると安心です。窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、食器棚の扉にストッパーを取り付けるのも有効。

*重い物は高い所に置かないこと!



☑非常用備蓄品の準備



水と食料は、最低でも「3日分×人数」の備蓄が目安。飲料水・缶詰・レトルト食品・アルファ米などの食料、紙コップや紙皿、缶切りやハサミ、ラップ、ガムテープなども併せて用意するとよいでしょう。家族で必要な物を話し合って準備しましょう。



☑避難通路と出入口の確保

避難経路を決めておき、通路には家具などを置かないようにします。夜中の災害や停電に備え、枕元には懐中電灯を、足元には厚手のスリッパを用意しておくくとケガ防止に役立ちます。



STEP 3 確認する

家族のお守り “わが家の災害時ルール”

避難場所等の確認



一時避難場所、広域避難場所等の位置は必ず確認を。家族が離ればなれになったときの集合場所も決めておきましょう。避難場所は、市のホームページで確認できます。

安否確認の手段

災害時は電話がつながりにくくなることが予想されます。『災害用伝言ダイヤル(171)』を覚えておくと、連絡が取れないときに家族とメッセージを伝え合うことができます。

●平時に試して、使い方を覚えよう!

★毎月【1日】と【15日】は体験利用日★

体験利用日には、『171』をダイヤルしガイダンスに従ってメッセージを登録したり、聞いたりすることができます。災害時に備え、利用方法を事前に確認しておきましょう。

ご家族でぜひ試してみてください!

*体験利用にも通話料が発生します。

わが家の防災チェック日

毎年 月 日頃

- 備蓄食料の賞味期限
- 乾電池の使用期限
- 薬の使用期限
- 避難場所と連絡方法の確認
- 不足品確認と入れ替え
- 家具の転倒防止点検
- 屋根瓦、塀など外回りの点検

*9/1 防災の日を目安に毎年繰り返しチェック!

読者レポーター募集

次号(12/1 発行)では、水源から蛇口、下水道に流れ処理されるまでの水の循環を特集します。つきましては、上下水道施設を見学し、レポートしていただける親子レポーターを募集します。皆さんのご応募お待ちしております!

*応募多数の場合は抽選となります。

>>> 募集内容

- 対象：市内に在住か通学している小学生とその保護者1組
- 見学日：平成25年10月15日(火)または16日(水) 午前8:00出発 午後5:00終了(予定)
- 見学先：湯西川ダム(日光市)→松田新田浄水場(今里町)→川田水再生センター(川田町)
- 参加費：無料(昼食は準備します)
- 応募方法：はがきに、①参加者全員の氏名②年齢(お子様の学年)③性別④住所⑤電話番号(日中連絡の取れる番号)⑥保護者様の職業 をお書き添えの上、下記宛先までご応募ください。

〒320-8512 宇都宮市昭和1-8-11 下野新聞アドセンター「水レポーター」係
問い合わせ ☎625-7966(月～金 午前9:00～午後6:00)

応募締切
9/20(金)

VOICE

H25.6.2 発行

NO.38 へのおたよりから

おたよりありがとうございます
お客様の声



お客様から

るまんちっく村でホテルが見られるとは驚きですね。水辺の豊かな自然、子どもたちにもつなげていきたいです。私も水を無駄にしないよう、できることから始めます。また、私たちが快適な生活を送れるのも、水道を支える方々がいるおかげですね。

(下岡本町・女性・会社員)

上下水道局より

限りある資源を皆で大切にしながら、豊かな自然を守っていきたいですね。これからも、皆さんの快適な暮らしの支えとなるよう、上下水道事業に取り組んでいきます。